「明日の学力」診断（しんだん） 予習プリント

小学６年

質問：どんな問題が出題されますか？

答え：「思考力・判断力・表現力」をはかるための**記述問題**が中心です。日常生活に近い場面の問題が多いのもとくちょうのひとつです。自分の考えを自分の言葉で説明する問題に慣れましょう。

質問：思考力・判断力・表現力って何ですか？

答え：思考力は「問題の内容を考え，わかる力」，判断力は「問題のとき方・答え方を決める力」，表現力は「自分の考えたことをほかの人にわかりやすく伝える力」です。

陽　太：**【資料１】**は，地球上の生物の絶滅（ぜつめつ）する速度を表したグラフだよ。かつて恐竜（きょうりゅう）が絶滅したように，多くの種が絶滅したときがあったけれど，それには数万年から数十万年もかかったんだって。だから，平均すると１年に絶滅した数は，0.001種くらいになるんだそうだよ。

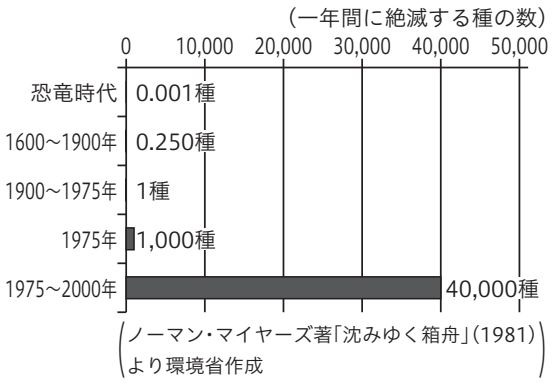
ゆかり：人間が今のような暮らしをするようになってから，

［　　㋐　　］。

陽　太：そうなんだ。絶滅する生物を少しでも減らすために，私たちにできることはないかな。

ゆかり：温暖化は電気やガスを使うと進むから，なるべく使わないようにするために，［　　㋑　　］。

【資料１】種の絶滅速度



（ノーマン・マイヤーズ著「沈みゆく箱舟」（1981）より環境省作成）

【資料２】現代における種の絶滅の原因

①開発などの人間の活動
②里山などの人間の管理不足
③外来種や化学物質など人間が持ちこんだもの
④温暖化など地球環境（かんきょう）の変化

(1)　［　㋐　］には，**【資料１】**から読み取れることが入ります。どんな会話が入りますか。書きましょう。

(2)　［　㋑　］には，どんな会話が入りますか。考えて具体的に書きましょう。

解答らん

(1)

(2)

▶**解答が書けたら，裏面（うらめん）の解答例と解説を見てみよう！**

解答例

(1) 例生物の絶滅の速度が，急激に上がっているね。

(2) 例テレビなどの電化製品のスイッチをこまめに切ったり，エアコンの設定温度を低くしたりすればいいと思うよ。

解説

(1) **【資料１】**のグラフに表されていることを，言葉で表す問題です。最初に陽太さんが「平均すると１年に絶滅した数は，0.001種くらいになるんだそうだよ」と言っているので，これはグラフの「恐竜時代」のことだとわかります。次のゆかりさんの発言に空らん㋐があります。空らんの前に「人間が今のような暮らしをするようになってから」とあるので，グラフのいちばん新しい年代である1975～2000年に注目すると，一年間に40000種もの種が絶滅しています。恐竜時代と大きくちがっています。このことを言葉でまとめます。「短い期間で多くの生物が滅びてしまっているね。」のような書き方でも正解です。絶滅した種の多さだけではなく，絶滅する速度の速さや期間の短さについて書くことが必要です。

(2) **【資料２】**をふまえて，生物の絶滅を少しでも減らすためにはどうすればいいかをゆかりさんが話しています。電気やガスを使わないようにするためにはどうするかという方法を具体的に書きます。生活の中のどこで電気やガスを使っているかを思い出して書くと書きやすいでしょう。

「明日の学力」診断では，問題文に書かれていることを手がかりにして，答えを考え，ほかの人にもわかるように表現する力をみています。
あなたなりの答えを書いてみましょう！